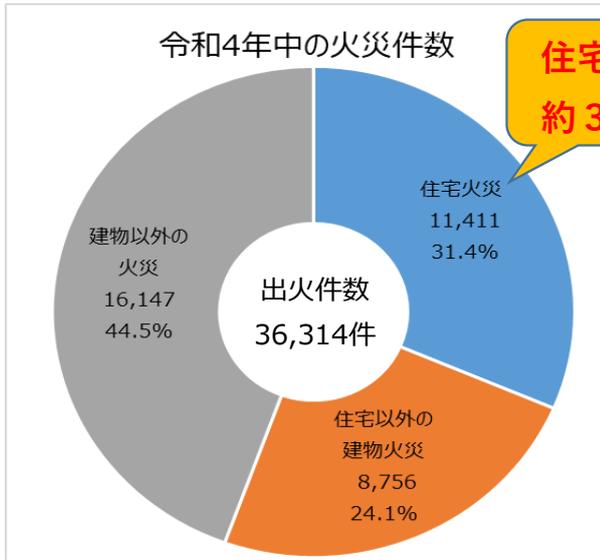


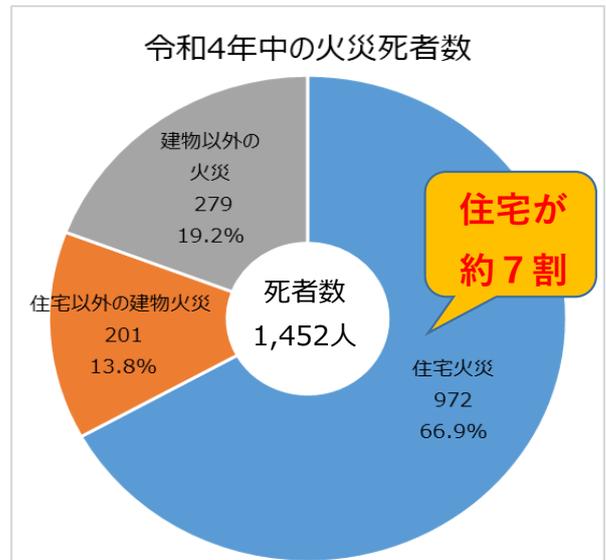
住宅用火災警報器は正しく設置し、点検しましょう

火災の死者の約7割は住宅火災で発生

住宅火災の件数は総出火件数の約3割ですが、住宅火災による死者数は総死者数の約7割を占めています。(全国)



住宅が
約3割



住宅が
約7割

※ 放火を含む全ての火災

※ 放火自殺等を含む全ての死者

住宅用火災警報器を設置しましょう

住宅用火災警報器の設置場所（どこに設置するの？）

住宅用火災警報器を設置する場所は寝室で、2階に寝室がある場合は階段室にも設置が必要となります。

設置場所の詳細（部屋のどこに設置するの？）

天井または壁に設置します。詳しい取り付け場所は、取扱説明書を確認するか、消防までお問い合わせください。

住宅用火災警報器の種類

煙を感知して発報する煙感知式と、熱を感知して発報する熱感知式があります。

各寝室や階段に設置する住宅用火災警報器は、煙感知式のものを使用してください。



大切ないのち・財産を守るためにもまだ設置していない方は住宅用火災警報器を設置しましょう。



住宅用火災警報器
(形状はメーカーにより異なります。)

警報器は定期的に点検しましょう

住宅用火災警報器は、正しく作動するか、定期的に点検しましょう。

春・秋の火災予防運動の時期など、半年に1回点検することをおすすめします。